

行灯講習会 62nd

色塗り・紙貼り

色塗り

★準備すべきものたち★

・ 紙

○紙には二種類ある（ロール紙、奉書紙）

ロール紙・・・薄い。光がよく通る。（みつはし価格：1枚14円）

奉書紙・・・厚い。重厚感がある。（みつはし価格：1枚25円）

○紙は適当な大きさにカットして使用。（四つ切が望ましい）

・ スポンジ

○台所用スポンジ（アーツ価格：個入り 円）を使用。

○作り方

① ガーゼを30cm前後にカットし、四つ折にする。

（最初から15cm前後にカットして使うのはお勧めしません）

② スポンジの硬い面を剥ぎ取って一辺2cmくらいの立方体にカット。

（剥ぎ取った硬い面はとっておくと後で洗い物に使えます）

③ ②を①で包んで輪ゴムで結んだら出来上がり☆

○とにかくたくさん作っておく。（20個～∞個）

○使ったら洗う。キレイに洗う。

・ 塗料

○アクリルガッシュを使用。

（内容量によって価格が違うので使用頻度によって選ぶ）

○原液のままだと濃いので水で希釈する。

・ 新聞紙

○クラスの奴等に死ぬほど持ってきていただく。

・ トレー

○塗料入れに使用。

（インスタント商品の四角いのとかオススメ）。

・ 刷毛

○塗料を混ぜるときに使う。

（安くいいので行灯用として2～5本とかあった方がいい）

★さあ、塗るべし★

・・・基本の塗り・・・

- ① ブルーシートをひいた上に新聞紙をひいた上に適度な大きさにカットした紙をセットする
- ② 適度な濃さに調節した塗料をトレーにそそぐ
- ③ スポンジに塗料をつける
- ④ いざ紙へオン
- ⑤ 塗り終わったら乾かす

・・・終了・・・

これだけです

ちょこっと解説

>>>①

ブルーシートを敷かないと減点されてしまいます。

新聞はこまめに交換しましょう。

ロール紙の場合、ツルツルした面が塗る面です。

>>>②

《塗料について》

配合や薄め具合ははっきり言ってお好みです。が、

・色によってムラができやすいものとそうでないものがあります。

・薄め具合によるムラへの影響は大です。要研究。

自分で好みに調合した塗料は、とにかく大量生産しておきましょ。

2リットルとか1.5リットルのペットボトルに保存するのがセオリー。

(使ったペットボトルは必ず洗って捨てる)

>>>③

ためらうべからず。つけすぎ厳禁。

>>>④

極意は「塗る」でなく「叩く」こと。

>>>⑤

これもブルーシート敷いた上でやらないと怒られます。

ここで色選択ポイント

- ・ 薄い色・・・光が透けやすくとてもキレイだが安っぽい！
- ・ 濃い色・・・重厚感がありカッコイイけどあまり光には透けない！

何事もバランスが大事です

★業物たち★

☆柄をつける

模様が入らない行灯ははっきり言ってあり得ません。

ですが、だからといってやみくもに柄ばっかりにしても正直うざいです。

ここではおそらく王道であろう柄のつけ方を紹介します。

・・・柄のつけ方・・・・・・・・・・・・・・・・

① 型をつくる

② 塗りあがった紙に型を載せて、ステンシルの専用で印く。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・終了・・・

>>>①

王道型の作り方

1. プリントをはさんだりするクリアファイルをペリっと裂いて1枚にする
2. 紙に柄の模様を描く
3. 描いた模様に沿ってカッターでファイルをくり抜く

>>>②

塗りあがった紙ではなく、何も塗っていない紙に柄をつけてから周りを塗る方法もあります。

ただ、とてつもなく、めんどう。

色の組み合わせ(同系色なのか、対照的な色なのか)により選択してください。

- * 柄で一番大切なのは『柄合わせ』です。龍の鱗などが顕著な例ですね。
紙貼りの技術もここではとても大切。
- * 1年生や2年生なんかは柄合わせをしなくても不自然じゃない花柄などがお勧め。
- * 図書室に資料あります。

☆ロウを使う

マイチ光が透けなくてかっこよくならない・・・

そんな時に活躍するのがロウです。

まず注意から。

- ・換気大事、火傷注意
- ・気化したロウは身体に良くないので吸い込まないように注意(マスク着用推奨)

以上を守って、

・・・・ロウの使い方・・・・・・・・・・・・

① IHクッキングヒーター等で小ぶりの鍋にロウを入れて加热

② 十分溶けたら、筆や刷毛で使用箇所に塗る

③ 清潔して乾かす

・・・・終了・・・・

>>>①

ガスコンロは禁止です。

鍋は今後一切ロウ以外には使えなくなると考えてください。

>>>②

筆や刷毛は使っているとロウがこびりつきますがロウと一緒に暖めると二回目以降も使えます。

ただ最終的には使えなくなるものとして考えてください。

>>>③

意外とはやく乾きます。

てゆうか塗ったそばから乾きます。

※ 1 ロウにはボンドはくつつきません。紙貼りの際はご注意を!

※ 2 多用しすぎるとマジでウザイです。見せ場等にワンポイントとして使うのがオススメ。

ちなみにロウ 4本入りで 105 円(100均価格)

紙貼り

★準備すべきものたち★

・塗り終えた紙

○新聞紙にはさんで丁寧にテントまで運ぶ

・木工用ボンド(速乾推奨)

○バケツサイズのものを買って、プラスチックカップ等に入れて使う

・美しい針金格子

・霧吹き(好み)

○使用方法は後述で

・ハサミ(+カッター)

○100均で大量購入がオススメ。刃は薄いほうが切りやすい。

★張ろう★

・・・張り方・・・・・・・・・・・・・・・・

① 紙を格子ひとつ分にあわせ、「ちょっと大きめ」に切る

② 格子にボンドを塗る

③ 丁寧に貼り付ける

④ ボンドが乾いたら余分な紙をハサミで切る

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・終了・・・

>>>①

紙を格子に押し当ててほどよく型をとり、ハサミで切れます。無駄のないように！

>>>②

紙が付着する面にだけ「のせる」イメージで。

人差し指でボンドをとって格子にすべらせ、うまい具合に「のせて」いく。

>>>③

ボンドが余計なところにつかないように。

>>>④

ハサミにも限界があるので、限界を感じたら針金に巻き込む。

《霧吹きの使用方法》

1. 紙を格子サイズに 格子にボンドを塗ってから、紙を霧吹きで少しぬらす
2. すると紙が少し水を吸収して膨張するのでそのままピーンとなるように貼る
3. 後は同じ。

これを行うことで紙が乾くと更にピーンとしてカッコよく貼れます。

円柱的なパーツ部分に貼るときなどに便利。

ただ、雨天時は避けた方が良い。

あとやりすぎると紙がやぶけるので注意。

※ 基本は1区画づつ貼るのが常識だが、柄や時間等さまざまな都合で已む無く多区画貼りになる場合もある。そういう場合は仕方ない。

※ 貼る順番注意！

高いところや貼りにくいところから貼らないと後にトンデモ技を繰り出さないといけなくなる。

※ どうしても時間の都合上、針金や電飾が未完成のまま紙貼り作業に入る。

その場合は針金チーフや電飾チーフと相談してどこから貼ればいいのか決める。

※ 逆に、柄合わせで時間をとりそうだったりするところは先に作ってもらったりすると良い。

※ まあ、どうであれ他チーフの人とは連携が大事だということです。

何か不明点、「こういうのってどうやるの？」等あれば3-3の宮内ってひとのところに来て頂ければできる限り力になります。お気軽にどうぞ。+(*`・▽・'*)+*